

## 会誌とWeb

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会  
副会長 堀江好一



平成25年10月2日(水)に行われた本会の理事会で、以前から継続審議となっていた重要な議案が決議された。その議案とは、現在、年6回発行している会誌「埼玉放射線」を年4

回に減らすことで予算を捻出し、Webサイトを全面的にリニューアルするという議案だった。

1995年頃から急速に増加したインターネット人口。本会が「これからはインターネットだ!」と2001年にWebサイトを立ち上げて12年が経過した。Webサイトを立ち上げた頃は、見る人が皆、電話回線を使用したナローバンド環境だったので、いかにしてデータ量の少ないページを作り、見る人にストレスを与えないかが、コンテンツ作成における重要課題だったのが懐かしく思い出される。徐々に通信インフラも電話回線→ADSL→光回線とブロードバンド化が進み、派手な演出のホームページが増えてきた。

そしてその後の大きな変化は、2007年のiPhone登場を機にスマートフォンが急速に普及してきたということだろう。総務省の調べでは「主としてインターネット接続に使う端末」が、携帯電話、スマートフォンおよびタブレット端末を併せると、家庭外使用では48.0%、家庭内使用でも32.2%(平成24年)とのこと。さらにこれをスマートフォンだけに限定すると、家庭外使用においては平成23年の調査で11.4%だったものが、1年後には27.8%と驚くべき増加を示している。それとは逆に、パソコンの保有台数はここ数年減少傾向にあるのだそうだ。どうも時代はPCからスマホという流れのようだ。

そうなれば本会会員のみならず、県民や全国の診療放射線技師に情報提供を行うためにも、スマートフォン向けページを作成することが急務であることは明らかと言えるだろう。しかも年々増

え続けるコンテンツの管理とメンテナンスは、特定の役員に負担を強いている状況だ。言うなれば「埼放技Webサイト」という本を、印刷会社を使わずに、一部の人のみに印刷製本させているような状況であり、決して好ましいものではない。

また反面、会誌の発行回数を減らすのは正しい選択なのか。ここには迷いを感じられた。8月の理事会審議の中で、多くの理事から発行回数を減らすことに意見が出た。皆、会誌をとっても大切に思っているのだ。

「発行回数を減らさないでWebサイトを充実することはできないのか」

「会誌が送られてきても封も切らずに放置されているからWebサイトの充実を」

「会誌を見ない人はWebサイトも見ないので。だから会誌は減らさないほうが」  
等々・・・

そこで、我々は、会員の皆さまがどのように考えるのかを知るため、8月から9月にかけて意見を募ることにした。結果は、会誌を減らしてもWebサイトをリニューアルすることへの賛成意見が多数を占めた。そして10月の理事会で、会員のメリットが失われないように考慮することも前提として、ほとんどの理事が、来年1月から年4回の発行にすることに賛成した。

会員の皆さまの中にも、会誌を大切にしていた方が多くいらっしゃると思う。決して安易に今回の決断に至ったのではないということをご理解いただくために巻頭言として取り上げさせていただきます。

今後は、会誌内容のさらなる充実と共に、Webサイトではデザインや見やすさを向上させ、スマートフォンでもブックマークしていただけるような充実したWebサイトに生まれ変わることをお約束したい。乞うご期待。